

2005年3月博士課程修了論文

| | 専攻 | 申請者氏名 | 博士論文テーマ | 指導教授 |
|---|------|-------|-------------------------------|-------|
| 1 | 開発問題 | 矢嶋 和江 | メコン河洪水災害に対する住民意識と被害軽減行動に関する研究 | 高坂 宏一 |

2005年3月修士課程修了論文

※ リサーチペーパー

| | 専攻 | 申請者氏名 | 修士論文テーマ | 指導教授 |
|----|--------|--------|-----------------------------|-------|
| 1 | 国際開発 | 柿内あかば | タイ王国クロントイ・スラム住民の飲用水に関する調査研究 | 金子 哲也 |
| 2 | 国際開発 | 黄 徳中 | 蒋介石の大陸反攻論 | 田久保忠衛 |
| 3 | 国際開発 | FARIKA | ジェンダー的概念としてのグローバリゼーション | 吉竹 広次 |
| 4 | 国際開発 | 星野 抄織 | 中国涼山彝族の食物摂取状況に関する研究 | 高坂 宏一 |
| 5 | 国際開発 | 于 鵬飛 | 中国農村の消費問題 | 青木 健 |
| 6 | 国際開発 | 王 悦 | 中国企業における動機づけ理論の課題 | 武内 成 |
| 7 | 国際開発 | 佐和 学 | 経済成長と雇用問題 | 吉竹 広次 |
| 8 | 国際開発 | 宋 萌 | 日本の政府開発援助 | 青木 健 |
| 9 | 国際開発 | 張 雲秀 | 中国における民工ブーム | 青木 健 |
| 10 | 国際開発 | 原 悠子 | 一人会社に関する法人格否認の法理を巡る問題 | 千葉 洋 |
| 11 | 国際文化交流 | 李 今順 | 相手を喜ばせる表現 | 金田一秀穂 |
| 12 | 国際文化交流 | 天野 貴介 | 日本語フォリナートークにおける有効的な調整について | 金田一秀穂 |
| 13 | 国際文化交流 | 井上 欣需 | 現代台湾に見る歴史認識の変遷について | 小山 三郎 |
| 14 | 国際文化交流 | 王 珊 | 歌舞伎と京劇における非言語情報伝達 | 楠家 重敏 |
| 15 | 国際文化交流 | 王 慈敏 | 蔣渭水研究－彼の評価の推移からみた台湾政治 | 小山 三郎 |
| 16 | 国際文化交流 | 大井 恵 | 朝鮮総督府の鉄道支配と方法について | 小山 三郎 |

| | 専攻 | 申請者氏名 | 修士論文テーマ | 指導教授 |
|----|--------|--------|---|-------|
| 17 | 国際文化交流 | 喬 維 尼 | 文章の表情－顔文字とその表現意図 | 金田一秀穂 |
| 18 | 国際文化交流 | 古 文 溪 | 映画「悲情城市」と台湾政治 | 小山 三郎 |
| 19 | 国際文化交流 | 江 逸風 | ※在日中国人における新聞に関する研究 | 小山 三郎 |
| 20 | 国際文化交流 | 高 賢珠 | 日韓両語における敬語法の比較 | 金田一秀穂 |
| 21 | 国際文化交流 | 杉本 充江 | 地方自治体の外国人政策の一環としての日本語教室の現状と課題 | 熊谷 文枝 |
| 22 | 国際文化交流 | 高橋 美帆 | 共同発語の分析 | 金田一秀穂 |
| 23 | 国際文化交流 | 猪 世穎 | 日本文学の文体の研究 | 金田一秀穂 |
| 24 | 国際文化交流 | 趙 南実 | 中国朝鮮族の民族語に対する言語意識から見るアイデンティティの考察 | 熊谷 文枝 |
| 25 | 国際文化交流 | 丁 美英 | 韓日飲食店での言語行動比較 | 金田一秀穂 |
| 26 | 国際文化交流 | 中川 美保 | 成人日本語学習者に対する内容重視の日本語教育における教室活動 | 今泉 喜一 |
| 27 | 国際文化交流 | 広田 教子 | ※公立学校における日本語教育の現状と分析 | 金田一秀穂 |
| 28 | 国際医療協力 | 阿部 千春 | 中央アジアの母子保健 | 加藤 英世 |
| 29 | 国際医療協力 | 上野 早紀 | 開発途上国における肥満対策に向けての茶カテキンの活用 | 大野 秀樹 |
| 30 | 国際医療協力 | 金堀 裕子 | 性同一性障害者の性別変更問題についての考察 | 岸 邦和 |
| 31 | 国際医療協力 | 亀田 真弓 | 病院における看護システムの機能についての検討 | 唐澤 和義 |
| 32 | 国際医療協力 | 坂元イツ子 | 看護者における安全促進準備状態の形成要因と安全教育の位置づけ | 川村 治子 |
| 33 | 国際医療協力 | 佐藤 英樹 | 大規模病院における <i>Serratia marcescens</i> の院内感染対策のあり方に関する研究 | 野山 修 |
| 34 | 国際医療協力 | 竹島しのぶ | 東アフリカ（ケニア）のエイズ対策から見る日本のエイズ対策への提言 | 青木 健 |
| 35 | 国際医療協力 | 田畑 博子 | 発展途上国の母子健康手帳の導入と利用方法の検討 | 北島 勉 |
| 36 | 国際医療協力 | 牧野 博 | 緑膿菌の薬剤感受性動向調査と多剤耐性緑膿菌の分離状況および院内伝播調査 | 神谷 茂 |
| 37 | 国際医療協力 | 湯野川雅倫子 | Newly Independent States (NIS) 諸国における循環器疾患の現状と予防対策ならびに国際医療協力のあり方に関する基礎的検討 | 高島 豊 |

| | 専攻 | 申請者氏名 | 修士論文テーマ | 指導教授 |
|----|--------|-------|--|-------|
| 38 | 国際医療協力 | 米山 正芳 | 日本国内における蚊媒介性感染症に対する地球温暖化の影響に関する研究 | 田口 晴彦 |
| 39 | 国際医療協力 | 渡辺 淑子 | 高度救命救急センター集中治療室における <i>Burkholderia cepacia</i> 分離と感染源に関する研究 | 神谷 茂 |

2006年9月博士課程修了論文

| | 専攻 | 申請者氏名 | 博士論文テーマ | 指導教授 |
|---|------|-------|----------------------|-------|
| 1 | 開発問題 | 川中 敬一 | 中国の対外武力行使発動における目的と特徴 | 小山 三郎 |

2006年9月学位授与申請持込論文

| | 職名 | 申請者氏名 | 博士論文テーマ | 紹介教授 |
|---|--------|-------|------------------------------|-------|
| 1 | 杏林大学教授 | 千葉 洋 | 学校法人会計における基本金および会計手続き一元化論の研究 | 田久保忠衛 |

2006年9月修士課程修了論文

※ リサーチペーパー

| | 専攻 | 申請者氏名 | 修士論文テーマ | 指導教授 |
|----|--------|-------|----------------------------------|-------|
| 1 | 国際開発 | 宋 静妹 | キャッシュ・フロー計算書分析と企業経営管理制度 | 千葉 洋 |
| 2 | 国際開発 | 張 敬英 | 中国自動車産業の発展と産業政策 | 小野田欣也 |
| 3 | 国際開発 | 張 川 | 決算予備手続の本質に係る一考察 | 千葉 洋 |
| 4 | 国際開発 | 郝 策翊 | 中国の対外経済戦略 | 馬田 啓一 |
| 5 | 国際開発 | 范 新燕 | 中国のFTA 戦略の展望－対東アジアを中心として－ | 馬田 啓一 |
| 6 | 国際開発 | 李 玥 | 中国の環境問題 | 青木 健 |
| 7 | 国際文化交流 | 謝 向群 | 来日外国人と日本茶 | 楠家 重敏 |
| 8 | 国際文化交流 | 趙 為玉 | 台湾における日本文化 | 楠家 重敏 |
| 9 | 国際文化交流 | 王 敬京 | 中日キャッチコピー比較－自動車を中心に | 金田一秀穂 |
| 10 | 国際文化交流 | 佐藤 直樹 | ミャンマー連邦国ヤンゴン市の日本語教育の現状と課題 | 今泉 喜一 |
| 11 | 国際文化交流 | 蔣 家義 | ダロウと「吧ba」の対照研究－言語行為論の立場から－ | 今泉 喜一 |
| 12 | 国際文化交流 | 張 玉波 | 単身赴任における現代日本家族意識 | 楠家 重敏 |
| 13 | 国際文化交流 | 張 士雪 | 京劇と歌舞伎の対照研究 | 楠家 重敏 |
| 14 | 国際文化交流 | 劉 艶麗 | 明治時代と現代における日本人女性の地位 | 楠家 重敏 |
| 15 | 国際文化交流 | 林 茜茜 | ブログにおける言いさし文 | 金田一秀穂 |
| 16 | 国際文化交流 | 西村 真弓 | ベトナム人日本語学習者の日本語アクセントの習得状況と指導について | 金田一秀穂 |
| 17 | 国際医療協力 | 住石 歩 | 悪性腫瘍の細胞診断への遺伝子診断の応用 | 岸 邦和 |
| 18 | 国際医療協力 | 章 全 | 中国の合計出生率の将来予測に関する研究 | 高坂 宏一 |